

科目名 Subject	伝承美（茶道） Traditional Art - Tea Ceremony			教員名	河原 薫	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1単位	
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	○			◎	◎	
科目の概要	社会で活躍するためには、専門的な知識や技術の習得のみならず、洗練された接客マナーが求められます。各回とも講義と実技（点前の稽古）を組み入れ、帛紗の扱い・帛紗さばき・お茶の点て方・飲み方を学びます。講義では、禅語の読み方・意味を学び、日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できるよう育成する。 【複数教員担当方式】					
授業方法	対面授業					
授業の目標	日本の伝統文化である茶道は、「道・学・実」を三位一体で学ぶことを通し、美の裏方としての人間形成を図ることに主眼をおいている。中でも「和敬清寂」を学び、茶道を通して精神面の成長を図ることにより、その成長を実践することができる。おもてなしの心を学ぶとともに、お茶の正しい点て方と頂き方を習得し、世界の豊かな生活に貢献するために多様な人々の社会的・文化的背景を尊重して行動することができる。					
時間外学習（予習・復習）	裏千家の盆略点前を学習するうえで、各回の復習は非常に重要なものとなります。1単位科目の為、講義内容の復習、お茶の正しい頂き方、帛紗さばきの予習復習等、60分の学習が必要です。授業以上を望んでいる学生には部活動として無料で本校茶室愛治庵において指導しています。					
教科書・教材	教科書		『茶の湯で学ぶ美』 河原宗孝著（株）淡交社 平成15年4月1日初版発行 平成29年3月20日第7版発行			
	教材		帛紗セット			
	使用設備・備品		盆略点前に必要な道具、和室、愛治庵			
	参考文献		月刊誌『淡交』『なごみ』ビデオ『利休の茶』『15代鵬雲斎大宗匠とジェーン先生の対談』			
評価方法	筆記試験（50％）、実技試験（15％）、受講態度（35％）の総合評価					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。					
履修上の注意	名札、腰紐、白いソックス、髪を束ねるゴムの用意。					
本科目履修と関連する資格	資格名	茶道裏千家許状『初級』。時間外学習をした生徒で希望者には『中級』の許状取得可。				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	オリエンテーション 講義 入門の心得・教材の配布・お茶ってなんだろう 実技 お菓子の頂き方・お茶の点て方、飲み方	茶道とは何か、また、お茶席での身だしなみ、お茶室でのマナーについて理解し、説明できる。	茶室でのマナーを覚える。(30分) お菓子の頂き方、お茶の点て方、お茶の頂き方の復習。(30分)
第2回	講義 禅語「喫茶去」 実技 お辞儀の仕方・床の拝見・立ち方・歩き方を学ぶ	茶道に関係のある禅語「喫茶去」の読み方と意味を述べることができる。	禅語「喫茶去」について理解(30分) お辞儀の仕方、床の拝見、立ち方、歩き方の復習。(30分)
第3回	講義 風炉・炉・立礼・開炉について 実技 帛紗の扱い・帛紗さばきを学ぶ	風炉・炉・立礼・開炉について説明することができる。	風炉・炉・立礼・開炉について説明できる。(30分) 帛紗の扱い・帛紗さばきの復習。(30分)
第4回	講義 禅語「薫風自南来」。歴代家元(1代～5代) 実技 棗・茶杓の清め方、お茶の点て方・飲み方を学ぶ	茶道に関係のある禅語「薫風自南来」の読み方と意味を述べるができる。	禅語「薫風自南来」について理解(15分)。歴代家元1～5代を覚える。(15分) 棗・茶杓の清め方の復習、お茶の点て方・飲み方の復習。(30分)
第5回	講義 お茶の心「和敬清寂」。歴代家元(6代～10代) 実技 茶巾のたたみ方・茶碗のふき方・茶筌通しをまなぶ。	茶道の精神を説明することが出来る。日本の伝統と文化の理解に努めることができる。	棗・茶杓の清め方の復習。(30分) 歴代家元1～10代を覚える。(30分)
第6回	講義 ビデオ『利休の茶』『15代 鵬雲斎大宗匠とジェーン先生の対談』・愛治庵について学ぶ 実技 お茶の点て方・飲み方	千利休の精神を述べる事が出来る。日本の伝統と文化の理解に努めることができる。	茶室愛治庵について理解。(30分) 棗・茶杓の清め方、お茶の点て方・飲み方の復習。(30分)
第7回	講義 愛治庵茶室の勉強(愛治庵) 感想文 実技 呈茶・お運び	茶室愛治庵の名前、由来、特徴を覚える。	和室でのマナーについて理解。(30分) 和室での正しいお茶の頂き方の復習。(30分)
第8回	講義 お客様に好かれる方法、接客のマナー 実技 盆略点前1回目 盆略点前を覚える。	プロの自覚を持ち、お客様に好かれることの重要性を述べる事が出来る。	盆略点前の復習。(60分)
第9回	講義 茶室における髪形・着付け・メイク。盆略点前の配置図。 実技 盆略点前2回目 盆略点前を覚える。	茶室での髪形、着付け、メイクを覚える。盆略点前の配置図を覚える。	盆略点前の配置図を覚える。道具の読み方と働きを覚える。(30分) 盆略点前の復習。(30分)
第10回	お茶会に招かれて	お茶会に招かれた時のマナーを覚え、礼法におけるお客様としての心構えを学ぶことで、上級の接客をすることができる。	お茶室でのマナー、正しいお茶の頂き方の復習。(30分) 棗・茶杓の清め方の復習。(30分)
第11回	講義 「利休遺偈」を学ぶ 実技 盆略点前3回目 盆略点前を覚える。	「利休遺偈」の読み方と意味を述べる事が出来る。千利休の精神を理解できる。	「利休遺偈」について理解。(30分) 盆略点前の復習。(30分)
第12回	講義 ビデオ『茶の湯自在』 実技 お茶の点て方・飲み方	ビデオを使いお茶事の流れ、お客ぶりを体感できる。	お茶事の流れの復習。(30分) 棗・茶杓の清め方の復習。(30分)
第13回	講義 春夏秋冬の感じ方 実技 盆略点前4回目 盆略点前を覚える	季節の移り変わりを知り、日本の四季を実感し、他の国の人に伝えることができる。	盆略点前の復習。(60分)
第14回	講義 利休七則の教え。歴代家元(11代～16代)。茶の湯英会話。茶の用語抄 実技 盆略点前5回目 盆略点前を覚える。	海外での活躍を考え、英語による呈茶を実践できるようになる。茶道で使用する英語を述べる事が出来る。	利休七則の教えを覚える。歴代家元(1～16代)を覚える。(30分 盆略点前の復習。(30分)
第15回	講義 禅語「一期一会」 総復習 実技 最終確認	総復習することで、茶道についての理解を深め、日本のおもてなしの心を持ち、行動することで、世界の豊かな生活に貢献できる。	禅語「一期一会」について理解。(30分) 総復習を確認し覚える。(30分)